

ランチョン教育講座

「音楽療法を考える」

座長：塩谷百合子

演者：青 拓美

青音楽研究所長・戸田病院音楽療法士

1. 音楽療法の定義

音楽の持つ、生理的、心理的、社会的働きを用いて、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の質の向上、行動の変容に向けて、音楽療法士が音楽を意図的、計画的に使用すること

2. 音楽のさまざまな働き

1) 生理的働き

2) 心理的・社会的働き

3. 音楽療法の分類

1) 活動様式による分類

能動的音楽療法 VS 受動的音楽療法

集団音楽療法 VS 個人音楽療法

2) 目的による分類

- ・ 記憶を賦活するためのアプローチ
- ・ メンタルケアのための精神・心理療法的アプローチ
- ・ S S T (Social Skill Training) としてのアプローチ
- ・ 身体機能を高めるためのアプローチ
- ・ 認知レベルを高めるためのアプローチ
- ・ 意欲・活動性を高めるためのアプローチ

4. 音楽療法士の仕事

1) 病気と障害と音楽療法士のスタンス

2) 対象別の音楽療法の目的とキーワード

- ・ 発達障害
- ・ 精神障害

- ・ 認知障害
- ・ 神経難病
- ・ 心身医学の対象
- ・ 外科・歯科・内科などの疼痛や不安を持つ対象
- ・ 緩和ケアおよびグリーフワーク
- ・ 予防医学・看護・作業・リハビリ領域への貢献